

アール・ディエンジニアリング最終処分場周縁地下水等調査結果について

栗東市小野の(株)アール・ディエンジニアリング最終処分場について、周辺環境への影響を把握するため、当該処分場の周縁地下水等モニタリング調査を行っているところですが、平成19年12月に実施しました調査の結果は、以下のとおりでしたのでお知らせします。

なお、モニタリング調査は、今後も継続していくこととしており、調査結果は、「RD最終処分場問題対策委員会」での地下水汚染対策等の必要な検討に用いられます。

1.調査日

平成19年12月18日(火曜日)

〔平成19年度周縁地下水等調査について〕

- 周縁地下水: 四半期毎に1回の計4回実施(今回3回目)
- 場内浸透水: 年1回(9月実施)
- 浸出水処理施設: 四半期毎に1回の計4回実施(今回3回目)

2.調査実施者

滋賀県 琵琶湖環境部 最終処分場特別対策室

3.調査地点

[別添位置図参照\(PDF:78KB\)](#)

- 周縁地下水: 4地点(No.1、No.2、No.3、No.9)
- 浸出水処理施設: 1施設(処理原水および処理水について実施)

4.調査項目

- 周縁地下水: BOD等の一般項目の他、有害物質24項目
- 浸出水処理施設: BOD等の一般項目の他、有害物質9項目

5.調査結果

(1) 周縁地下水

[分析結果資料\(PDF:6KB\)](#)

- No.1井戸
シス-1,2-ジクロロエチレンが0.10mg/l検出され、廃棄物処理法に定める安定型最終処分場の周縁地下水の基準値(以下「周縁地下水の基準値」という。0.04mg/l)を超えていた。
また、ダイオキシン類が1.6pg-TEQ/l検出され、周辺地下水の基準値(1.0pg-TEQ/l)を超えていた。ほう素も1.3mg/l検出され、地下水の環境基準値(1.0mg/l)を超えていた。
その他の項目については基準値を超えているものはなかった。

(※1) pg :mgの十億分の1(1pg=1,000,000,000分の1mg)

(※2) TEQ: 毒性等量であることをいう。ダイオキシン類には多くの異性体が存在しており、その毒性は、異なっている。このため、混合しているダイオキシン類の毒性の強さを評価する上で、最も毒性の強い2,3,7,8-TCDD(テトラクロロジベンゾダイオキシン)に換算した数値

- No.2井戸
ひ素が0.011mg/l検出され、周縁地下水の基準値(0.01mg/l)を超えていた。
その他の項目については基準値を超えているものはなかった。
- No.3井戸
基準値を超えているものはなかった。
- No.9井戸
ほう素が1.2mg/l検出され、地下水の環境基準値(1.0mg/l)を超えていた。
その他の項目については基準値を超えているものはなかった。

(3) 浸出水処理施設

[分析結果資料\(PDF:4KB\)](#)

処理原水と処理水について調査を実施した。処理水の結果は、安定型最終処分場の浸透水の維持管理基準値を超えているものはなかった。

【参考】栗東市調査結果との比較について

なお11月の市調査結果ではNo.1井戸で、シス-1,2-ジクロロエチレンが0.077mg/l検出され、今回の県調査と同様に周縁地下水の基準値を超えていた。

これらの地下水汚染については、市と連携を図りながら、処分場内の掘削調査等の結果と合わせて、RD最終処分場問題対策委員会において、対策工の検討を進めています。

関連リンク

[最終処分場特別対策室](#)

[RD最終処分場問題対策委員会](#)

[RD最終処分場問題行政対応検証委員会](#)

Copyright© Shiga Prefecture. All rights reserved.